

氏、「日本国民はアジアの東洋と日本海の波洗う美しい島々に、天皇を国民統合の象徴としていたとき、和を尊び、多様な思想や生活信条をおらかに認め合いつつ、独自の伝統と文化をつく岩倉貢視と大久保利通の二人による「決死の共謀」によつて成ったもの。明治維新はいわば陰謀によって成功したとも言える。たとえば日本に来た外が

と言おうと実現しなければ日本は終わり。辺野古移転の話が流れてしまえば、おそらく日本から崩壊する。2005年、自民党の憲法改正草案の前文を書いたのが、中曾根康弘である。とりわけ小御所会議における脅迫的な会議運営全なクーデター。王維新とはテロリズム革命と軍事蜂起であり、「鳥羽伏見の戦い」などは完歴史的に見れば、明治維新とは復古の大号令や「鳥羽伏見の戦い」などは完全に成ったもの。

は互いの辯に賭けようとするスピリット、精神に
あるのですから、日本でいつたん合意した重要な約束事が守れなくなると、精神的な生命力の枯渇が進むことを案するべきであるのですから、日本でいつたん合意した重要な約束事が守れなくなると思ふ。しかし、舛添要一氏らリベラル中道派によつてバッサリ削られた。明治維新は民主的な手続き、具体的には選挙によるものではない。桜田門外の変を筆頭に、すべて「テロ」に古への移転は、誰がなん普天間基地からの辺野。

The book cover features a large title in bold, black, sans-serif font. Below the main title is the author's name, Nakaniishi Terumasa, and a smaller subtitle. The background is white with some decorative elements like a small box and a signature at the bottom right.

日本人として知つておきたい外交の授業』(中西輝政著、PHP研究所、2012年)

中西輝政『日本人としておきたい外交の授業』を

機密ファイル （きひつ）

た。12歳から徹底した皇國教育を受けてきた吉田の身体には、2600年にわたる日本の歴史が染み付いていた。「頑固一徹」といわれた吉田茂の精神力は、どこから来るのだろうか。それはなんに個人の性格に帰するものではない。そのパックボーンこそ、一本筋の通った根深い世界観から来るものだった。

日本という国はどんな国か。それは、たとえば二千年前から日本には皇室が連續と続き、現在はそのケシ粒のようないところまで、そのなかで自分たちはこの縦の流れを続かせるお手伝いをしているだけだ、という価値觀だ。神話によつて、天皇の

アメリカ軍の兵士たちは、戦闘ではなく、多くは反乱勢力が武器を捨てて市民に紛れ込んでしまえば、それまで。市民もそれをアメリカ軍に突き出され、「あとで」殺されてしまうからだ。しかも作戦が終わつてアメリカ軍がFOBと呼ばれる前線作戦基地に引つ込んでしまえば、自分が「あとで」殺されてしまうからだ。

アメリカ軍がFOBは大きなものでは100平方キロ以上あり、内部にはジムやプール、スパーダーだ

爆テロやIED（即製爆弾）に対し、無人偵察機も軍事衛星も、無意味だつた。

アメリカ軍が空爆と地上部隊で押し切つても、は治安維持活動の最中に、IEDにやられたのだった。

アメリカ軍が空爆と地雷でなくさまざまなものでなくさまである店やサービス店がある固定な施設だ。

「テロにやられないために普段はここに籠められ」が、遠い本國にいるラムズフェルドたちの発示だつた。

「理想の組織」は、ダメトムアップや試行錯誤で、アメリカ軍の成功と敗北を分析した。

かれ曰く、この治安維持の失敗の原因は、ラムズフェルドたちがつぶ上げた「理想の組織」のものにあつた。とのこ

この透徹した国家觀り、打ちされた徹底的な法律も受け入れ、マツカ、吉田、サートも仲良くやって、GHQの考えた奇矯な主意も受け入れ、マツカ、吉田のリーダーシップの核心である。あの説の分からない自信は、その裏に吉田の安定感があったからだ。

日本人がインティッシュ・ジエンスや戦略的思考の分野で世界基準に追いくには、どうしたらいいですか」という質問をされる。そのとき私は、次のように答える。「手つかずの状態でなくさまざまな物語やサービス店がある固定な施設だ。

（1）統制の取れたチム。（2）統一大局觀。（3）厳格な指揮命令

祖先は神様と結びついでいる。だからこそ、この伝統を絶やすわけにはかない。皇室を残すためなら、GHQの考えた奇矯な主意も受け入れ、マツカ、吉田のリーダーシップの核心である。あの説の分からない自信は、その裏に吉田の安定感があったからだ。

40年前にイギリフ留学したとき、「日本は歴史の連續性を深く理解することにある」と唱へた。留る。し、今日の私の國家観は、その卓越性を示してくれた。本書を捧げたい。

「マルマガ発行者の「中西氏いわく、本を変えるには、数多くの超えた日本人が必要であります。今後も、「金剛」の超えた日本人が必要であります。日本にもそのこと。日本にもそのこと。日本人といつた人々はいると思う。今後も、「文明」の「インテリジエンス」に関する情報を信していきたい。

★中西輝政、「日本人として知りたい外資授業」の詳細、amazonに入はこちら↓

<http://amzn.to/RSl>

スルに駐留し、その治安維持に成功した。上司の命令を無視し、法の隙を突き、本国当局が駐屯地での訓練・教育担当。しかし彼はここで、新しい組織によるボトムアップでの変革を目指す。選んだ手段は「対反乱作戦マニュアル」の改訂だった。

彼は、マクマスター大佐をはじめ軍内部の異分子たちはもちろん、アメリカ軍への過激な批判で知られるイギリス人将校、CIA職員、ジャーナリスト、さらには人権擁護活動家まで、自ら批判する人々を集め、マニュアル作成を依頼する。

そして現場の試行錯誤の果ての成功例から練り上げられたマニュアルは、現場の兵士や指揮官から歓迎され、ダウンロード数は最初の2カ月だけで200万回を超えた。

ペトレイアス大将がついに上げた、対反乱作戦マニュアルは、「対ゲリラ戦の核心は、ゲリラの殺害ではなく、民心の掌握である」と述べている。こそが勝利への道であり、それが交番システムといった軍事面だけではある。ゲリラと民衆の分断、生活向上のための資金提供やインフラの整備といった多様な手段を必

要とする。マクマスター大佐はイラクに派遣される前から、イラクの歴史の本を読み漁り、現地で行動するべきかを考え抜き、仮想検問所での模擬訓練などさまざまな訓練を部下たちに施した。その根幹は、「イラク人の敬意」だ。「イラク人に無礼な態度をとることは、敵を助けるということだ」と兵士たちに説き続けた。そしてついに、イラクの民心は翻り、自律的な治安維持への道を歩み始めた。

ペトレイアス、マクマスターの2人ともが、歴史学の博士号をもつていることは極めて興味深い。

【メルマガ発行者のコメント】三谷氏は、軍事の専門家ではなく経営戦略の専門家であるため、いつくつか軍事に関する見解にクエツションマークがつくところがある。しかし、それがあつても、ペトレイアス戦略をうまく分かりやすく紹介しているところがさすがである。経営戦略と軍事戦略は、たがいに学びあう価値がある。

★三谷宏治『経営戦略全史』の詳細、amazon購入はいちらる。

http://amzn.to/ICeRlRO



女子シングルス決勝で石川佳純(手前)を破り、史上最年少で優勝した平野美宇

高校1年の平野美宇は、リートアカデミーが史上最年少となる16歳9ヶ月で初優勝を果たした。2年連続の顔合わせとなつた決勝で、ロンドン五輪で日本選手初となる女子シングルスはリオ五輪で日本選手初となる女子シングルスのメダリストの石川佳純(23)、全農は水谷隼(27)が4連覇を果たした。

高校1年の新女王誕生歴史に残る記録ついと喜び

16歳平野が最年少優勝

大相撲初場所

初V稀勢白鵬破り14勝

日本出身19年ぶり 横綱昇進が確定

【共同】大相撲初場所(国技館)千秋楽(22日・両国)千秋楽(22日・両国)

大関照ノ富士は来場所で初優勝を果たし、史上4番目の年長記録

新関脇ノ鶴は敗れて9勝6敗。小結高安は勝ち越しの懸念につき込み、11勝目を挙げた。



大相撲初場所で初優勝を果たし、賜杯を手に笑顔の大関稀勢の里

日本出身19年ぶり

横綱昇進が確定

横綱昇進が確定